

昭和二十二年廣島市事務報告書並財產表



事務報告書目次

總務局總務

課

一

職員

六

計

八

總務局

調查

二

財務

六

稅務

三

民生局

戶籍

七

學務

三

社會教育

三

商工業指導所

四

工業指導所

四

食糧課

五

(期間 自昭和二十二年十一月廿一日)

十一、九月三十日 調査課に庶務係、調査係を新設

十二、市條例及び告示その他について

- 一、條例 制定 一九 改正 二三
- 二、規則 制定 一一 改正 一四 廢止 二
- 三、告示 甲 法規制定 一 法規改正 一六 法規廢止 一
- 乙 選舉關係 二三 町内關係 八 市會關係 一七 その他 五九
- 法規制定 三 法規改正 三 その他 四

三、出張所について

昭和十五年内務省訓令第十七號は昭和二十二年二月二十日廢止となり町内會制度は禁止せられ次いで町内會並に運合町内會の行政的事務は三月末日までに總て市に移管することとなり四月一日より概ね元町内會に一人の囑託を置き運営を圖りつゝあつたが、これ等町内會類似団体の禁止となり六月一日政令第一號に附隨する部落會町内會等に關する解散、就職禁止その他行事の制限に基き廣島市出張所設置規則を定め昭和二十二年六月一日發足した、

一、本期中本年三月末日までに取扱つた舊町内會事務概略は左の通り

昭和二十二年三月八日町内會等解散式を舉行した

取扱つた件數左の通り

件名	件數	件名	件數
町内會連合町内會並に上記副會長異動の件	二三件	町内會整備統合の件	三件
死亡に關する件	三件	紀念品傳達に關する件	七八〇件
町内會分割設置の件	六件	町内會宛發送文書	二四七件

二、六月一日以降出張所事務

- (1) 出張所の事務員は概ね一出張所五人程度とし人口割で定め運営を送りつゝあつたが増員を圖り事務員を五〇〇内至六〇〇世帯に付一人備人を一、〇〇〇世帯に一人の割合で各出張所別人員を定めた、尙囑託を履に雇替替えした
- (2) 出張所移轉狀況左の通り
 - 大河出張所 八月十日 仁保町新築地乙一〇八ノ六より旭町一、三四〇へ
 - 舟入出張所 九月一日 舟入川口町七三一ノ二より舟入川口町六七四へ
 - 小網町出張所 九月二十三日 小網町一〇三より新市町三一六ノ一玉元屋百貨店內へ
 - 比治山出張所 十月三日 東雲町八二七より東雲町五八〇へ
- (3) 本期中に出張所に於て取扱つた事務報告集計表

種別	計	種別	計
轉入	一五、八〇三	妊産婦届受付	二、七四八
轉入承認	一六、三六六	妊産婦手帳交付	二、八四三
轉出証明	一六、一五五	出生届受理	二、三九九
轉出	一六、五四七	死亡届受理	一、〇一八
居住証明	四、七四四	出庭用物資交付	三、一五六
無所得証明	一八、九七六	婚禮用物資交付	一、四五三
食糧通帳交付	五、九〇九	葬儀用物資交付	一、一三三
金融通帳交付	一〇、一三六	火葬認許証交付	一、三四五
合計		合計	一一三、八四七六

四、消防團について

勅令第百八十五號（昭和二十二年四月二十日）消防團令公布により同年九月一日廣島市消防團條例を公布發足した
廣島市消防團組織定員表

一、本 部	團 長	一名	副團長	二名	その他の團員	三名
二、東支部	支部長	一名	副支部長	三名	分 團 長	十六名
	副團長	十七名	班 長	七一名	その他の團員	五八七名
三、西支部	支部長	一名	副支部長	二名	分 團 長	一名
	副團長	一三名	班 長	五四名	その他の團員	四七〇名

五、運營協議會について

一、五月二十八日勞働協約第八條に基いて設置

二、會 議 數 二十四回

三、主 要 議 題

- (1) 協議會に付議すべき事項の範圍（協約第七條）について
- (2) 機構改革について
- (3) 職階制及び停年制、その他人事給與關係諸規定について
- (4) 職員の待遇及び給與について
- (5) 不適格職員の整理について
- (6) 事務刷新運動實施について

六、公職追放について

一、昭和二十二年二月公職追放關係法令の公布に伴い、廣島市公職適否審査委員會を設置し、左の委員並びに主事を選任
委嘱した。

委 員 藤野七藏、永見真人、臺 壽治、川野義諦
主 事 坂本健順、山口政衛、山本 清

二、委員會開催度數 十四回

三、審査人員 市 吏 員 二二六人

選舉管理委員 七人

政 黨 支 部 一三人

商工會議所 一一人

農 漁 會 八人

農 業 會 二四人

農 地 委 員 九人

計 二九八人 内該當者一人

四、資格審査委員會委員長並委員の異動について

- (1) 第一回委員會（昭二二、三、一開催）において藤野七藏を委員長に互選
- (2) 七月一日附臺委員解嘱、宮川造六を委員として委嘱

總務局職員課

一、規則の改正及び職名變更について

廣島市雇傭人規定及び廣島市吏員任用規程を廢止し昭和二十二年九月三十日廣島市雇員規則並びに廣島市吏員採用昇格規則を制定した。これに伴い主事補、技師補、書記補、技手補をそれぞれ主事、技師、書記、技手とし雇員は事務員、技術員、現業員とした。

二、文化施設について

職員の讀書供覽に資する爲昭和二十二年三月より圖書室を開設東京市政調査會よりの讓渡その他購入により現在約四百冊を備付、利用者月平均約二百三十名

三、福利施設について

昭和二十一年三月以來共済組合の内容充實に努力して來たが更に昭和二十二年八月より職員の便利を圖る爲、市内持約店と契約を結び、日用品、身廻品の購入並びに修理を開始した

四、人事について

- 一、昭和二十二年三月二十二日 木原七郎 廣島市長を退職
- 二、昭和二十二年三月二十二日 助役 山本久雄 廣島市長代理に就任
- 三、昭和二十二年三月二十六日 助役 濱井信三 退職
- 四、昭和二十二年三月二十八日 山本久雄 廣島市長代理助役を退職

- 五、昭和二十二年三月二十八日 石井博 廣島市助役臨時代理者に選任せられ廣島市長代理に就任
 - 六、昭和二十二年四月十七日 濱井信三 廣島市長に就任
 - 七、昭和二十二年四月十七日 石井博 廣島市長代理を退職
 - 八、昭和二十二年八月三十日 大島六七男 廣島市助役に就任
 - 九、昭和二十二年九月十日 森澤雄三 廣島市助役に就任
 - 十、昭和二十二年九月二十三日 奥田達郎 廣島市助役に就任
- 本期中取扱つた理事以下職員の進退等は左の通りである

任	探	用	退	職	勤	務	替	死	亡	備	考
		104		124		144			10		

吏員、雇員の現在數並びに配屬は別表の通りである

會計課

一、物品購入について

種別	總數		隨意契約		指名入札		公入札	
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
一般會計	三、八〇三	六、〇〇一、九三〇七六	五、八六九、二〇七六				二	一三三、七〇〇〇
特別會計	一、六二五	三、三五、一九三三九	三、三五、一九三三九					
合計	五、四二七	九、三三七、一三二七	九、一〇四、四二二七				二	一三三、七〇〇〇

二、備品の受授について

種別	新規備付		廢棄及返納		現在		高
	點數	個數	點數	個數	點數	個數	
一般會計	二、四七〇	一六、〇〇八	二八七	七六九	一四、九五五	九五、七六三	
特別會計	四四九	三、〇三五			六一	四、二八	
合計	二、九一九	一九、三四三	二八七	七六九	一五、五六六	九九、八八一	

三、消耗品の受授について

種別	受入件數	拂出件數
一般會計	一、三六四	一、二八四
特別會計	一七六	一七六
合計	一、四六〇	一、四六〇

四、收入、支出

種別	收		支	
	金額	件數	金額	件數
國稅	八、〇八三、七六四二七	二七七	七、三六五、〇六一八七	八
縣稅	七、六四、七八〇四	三八九	四、五九五、七八二七	二
一般會計	八〇、六二五、九七〇六	四七三	八九、二七六、五九九四	一三、四二二
特別會計	四四、六六七、三五〇六六	六二〇	三五、六四三、三四一〇	一三、五二二
各種入札保証金				
各種代用証券額面				
契約保証金其他寄託金	一、二五八、二五五〇	一〇三	七、二二三、三三〇九	五一
契約保証金代用証券額面				
合計	一四三、三三〇、〇九一五三	一、八六三	一四四、〇九三、〇五四三七	四〇〇、七〇〇

秘書涉外課

一、儀式につて

- 一、十二月二十八日 事務納式 午前十時
- 二、一月一日 新年祝賀式 午前九時
- 三、一月四日 事務始式 午前九時

二、通譯に關する事務につて

- 一、外人來廳の際の通譯事務 八十五件
- 二、進駐軍との現地における交渉事務 四十一件
- 三、其他單なる通譯事務 四十六件

三、翻譯事務につて

翻譯事務は多岐多端に亘るが主なるもの一〇三件

四、市民領外事項につて

- 一、米國々籍回復につて 二〇件
- 二、其の他 八件

五、第三國人關係業務

- 一、昭和二十二年一月 北鮮向け歸還者實數調査
- 二、昭和二十二年三月 北鮮向け朝鮮人送還業務

- 三、昭和二十二年四月 廣島市在住朝鮮人調査
- 四、昭和二十二年七月十日より同年九月末に至る間第三國人送還業務を終へたるも九月五日以後南鮮向送還は中止、南西諸島方面は續行
- 五、非日本人異動状況月別調査
- 六、勅令第二百七號、及内務省令二十八號に依る、外國人登録施行九月末日現在における右登録による判明せる外國人登録者數現狀左の通り

職業別	國籍										計
	朝鮮	中華	臺灣	米國	ペル	英	フラン	在	其	計	
教師	三	一								四	
學生	一七	一								一九	
事務員	五〇	四	一							六三	
商人	二、三〇	八	四							二、三九	
勞働者一般	二六									二六	
職工	三四	一								三五	
通譯										七	
宣教師										二	
無職	二、六一	九								二、八四	
計	五、六〇	三二	六	五	八	四	一〇	七	一〇	五、九〇	

總務局調査課

一、工業調査について

調査の時期	十二月末現在	甲 票 従業者四人以上の工場	乙 票 従業者五人以上の工場	計
		七五九	三六九	一一二八

調査事項 工場名、工場所在地、事業開始年月、主要事業、従業者数、労働消費、貸銀支拂總額
 職員職工の一年間の給與總額、原材料總使用額、生産額及在庫額、原動機、作業機械
 設備、燃料及動力使用額、作業日數

二、會社統計調査について

本期中取扱ひたる會社の統計は左の通り

種別	株式會社	合資會社	合名會社	有限會社	計
會社	二四六	五九	四四	八三	四三三

調査事項 商號、種類、事務所在地、主たる業務、設立年月、出資額又は資本金、社債額、積立金
 純益金、配當金、純損金

三、生計費指數資料實地調査

一、價格報告者 物品小賣業者 八〇名
 二、調査費目

四、物價調査について

飲食料費 住居費 光熱費 被服費 其他の諸費 計 二八〇種
 市の物價指數を把握するため生活必需品を市内各所で調査す
 實施期日 自昭和二十一年九月 至昭和二十二年七月

五、縣統計調査について

本期中取扱ひたる縣統計は左の通り

調査報告時期	同	同上	項目
四月	報告	職業別世帯及人口表耕作地反別	

六、農林水産業調査について

本期中取扱ひたる農林、水産統計は左の通り
 一、農林統計

調査種別	報告件數
各期基本調査	一
農作物調査	三五
家畜調査	一〇
林業調査	一〇

二、水産統計

調査種別

調査

報告件数

報告件数

報告件数

報告件数

報告件数

漁業調査

七、臨時農業センサス及水産業基本調査について

連合軍總司令部の援助の下に農林省主管にて昭和二十二年八月一日全國一齊に實施され本市に於ても全市に五七調査區を設置して全農家(準農家を含む)全漁家につき調査す、課査事項左の通り

一、臨時農業センサス

一、農家準農家別

二、農家人口

三、過去一ケ年間に農業のために臨時に雇入れた延人員數

四、飼養牛馬頭數

五、所有農事用農機具台數

六、經營土地面積

七、貸付耕地面積

八、作付延面積又は栽培現在面積

九、農業収入の種類

一〇、専業と兼業別

二、兼業の種類

三、農業の業態

四、自小作別

一四、貸付耕地面積廣狹別

一五、經營耕地面積廣狹別

一六、馬飼養頭數別

一七、牛飼養頭數別

一八、ラ、ヂ、ヲ

一九、あなたの家は昨年八月一日にも農家でしたか(然否別)

二〇、經營耕地増減面積

二、水産業基本調査

一、經營形態の別

二、水産業の種類

三、専業兼業別

四、漁船

五、水産業従事者數

六、貸銀形態

七、漁獲數量

八、經營体に所屬してゐる世帯數

九、あなたの家は昨年八月一日にも水産業を經營してゐましたか(然否別)

八、毎月勤勞統計調査について

連合軍總司令部の指令に依つて各方面に調査指定事業所を設け給與、及雇傭に關する諸調査を昭和二十一年十二月分の調査から實施してゐる

九、昭和二十二年臨時國勢調査

産業、職業、に關する入口統計の正確なる資料を得るために昭和二十二年十月一日全國一齊に調査せられ本市に於ても全市を一一八調査區に分割して調査す調査事項並びに調査票で作成する統計表は左の通り

一、調査事項 氏名、男女の別、年令(數へ年)配偶の關係、日本人、朝鮮人、台湾人の別、盲、おし、つんぼの別、終戦海外からの引揚者(復員者を含む)か否かの別、就業狀況及所屬の産業及殘業失業の關係

二、統計表

一、速報表(市の統計表)人口概數

二二二、五三九人

二、世帯數及男女別人口 男子一一三、四四一人

女子一〇九、〇九八人

世帯五七、〇二六

三、基本表

- 四、産業別、年齢別、男女別、完全、就業者人口
 - 五、同 男女別、各才別（十才、十五才）完全、就業者人口
 - 六、同 年齢別、男女別、部分就業者人口
 - 七、同 男女別、各才別（十才、十五才）部分就業者人口
 - 八、失業する前の産業別、年齢別、男女別、失業者人口
 - 九、失業する前の産業別、産業別、男女別、失業者人口
 - 一〇、就業状態別、産業別、男女別、引揚者（復員者を含む）労働力人口
 - 一一、産業別、就業別、就業人口（符號イ、ロ、ハ、ニ、就業者）一括人口
 - 一二、産業別、従業上の地位別、男女別、完全就業者及部分就業者人口
 - 一三、産業別、男女別、就業時間別、完全就業者部分就業者人口
 - 一四、年齢別、男女別、非労働力人口
 - 一五、年齢（数へ年）男女別、盲、おし、つんぼの数
 - 一六、出身地域別、国籍別、男女別、人口
- 十、昭和二十二事業所統計調査について
- 連合軍の要請に依り農家を除く全産業に互り地域別、産業別、規模別の事業所の分布及びその事業活動状態を把握するため臨時國勢調査と併行実施す（事業所数一四、七五九件）調査事項左の通り
- 一、事業所の名稱
 - 一、本 所（本店本社）支 所（支店支社）の別

- 一、事業所の所在地
- 一、資本金又は出資金
- 一、事業の活動状態
- 一、事業の組織
- 一、従業者の内譯
- 一、九月一ヶ月間の給與總額
- 一、事業の内容
- 一、事業の種類

十一、市勢要覽の發行について

終戦後の本市復興状況を主とする昭和二十一年版市勢要覽（復興第一年號）を五〇〇部發行して各方面に頒布した

總務局財務課

一、市會について

市會の開會並願未左の通り

開議日數	件數區分			議案	願未	議案	願未	議案	願未	議案	願未	議案	願未	議案	願未
	總數	原案	可決												
五	一三	二七	六	未議了	決算	選舉	選任	總數	支障	支障	未議了	決定	未決定		

二、市參事會について

市參事會の開會及願未左の通り

(自昭和二十二年三月一日
至昭和二十二年五月二日)

開議日數	件數區分			議案	願未	議案	願未	議案	願未	議案	願未	議案	願未	議案	願未
	總數	原案	可決												
三	七	七	七	可決	修正	可決	未議了	選舉	證	問					

三、市會議長異動

昭和二十二年四月二十九日

市會議長退職

砂原格

昭和二十二年五月三十日

市會議長當選

寺田豐

四、市會副議長異動

昭和二十二年四月二十九日

市會副議長退職

川本泉

昭和二十二年五月三十日

市會副議長當選

山木茂

五、市會議員異動

昭和二十二年十二月三十日

辭任

角和雄

昭和二十二年一月二十四日

同

吉井靜吉、大規正一、福馬啓造

昭和二十二年三月二十六日

同

島 薰

昭和二十二年三月二十七日

同

佐々木強平、田會忠一

昭和二十二年四月二十九日

退職

菊崎正行、大横田義雄、秋田正之、横山周一

松下一男、川本泉、池永清眞、杉村政太郎
村上源次郎、砂原格、田村秀太郎、保田二吉
小川早苗、木村鹿男、川本精一、今田光治
安井貫吾、佐伯清一、海部恵一郎、遠藤俊三
田村才四郎、佐々木亮、尾山宗三郎、中尾三郎
朝田良一、大石長次郎

昭和二十二年五月二日

當選

檜垣重忠、吉本北男、木村鹿男、松谷徳市
奥本甚作、猪原光男、寺田豊、波多野秀男
朝田良一、岩井常吉、河内勉、佐々原計
山木茂、山岡坂一、村上源次郎、宮本數男

昭和二十二年五月八日 當選
 昭和二十二年八月十一日 死亡

六、豫算

1. 一般會計

松下一男、土岡喜代一、地後壽彦、荒木武
 杉村政太郎、砂原格、横見勳一、三宅峰吉
 吉本壽一、池永清真、山田辰實、結城康治
 上迫猛一、新關貞夫、鈴木實、川本精一
 前理一、松本清、任都粟司、淺尾義光
 柳坪東一、田村才四郎、伊藤忠男
 宮本正夫
 檜垣重忠

年度	費別	當初豫算額	自昭和二十二年三月三十一日追同加更正豫算額	昭和二十二年十月末日豫算現計額
昭和二十二年	經常部	三〇、五八、一七六	一〇、〇五、五六一	四四、七二、七四〇
	臨時部	一三、五九四、七三三	五四、四三、六九三	六七、〇三八、四二六
豫算計		四七、五三、八九一	六四、四九七、二五五	一一、七五〇、一四六
年度	費別	當初豫算額	自昭和二十二年三月三十一日追同加更正豫算額	昭和二十二年十月末日豫算現計額
	公益質屋費	二四〇、五四六		二四〇、五四六

2. 特別會計

年度	費別	當初豫算額	自昭和二十二年三月三十一日追同加更正豫算額	昭和二十二年十月末日豫算現計額
昭和二十二年	公會堂改築資金	三、三六三		三、三六三
	獎學資金	一、〇四九		一、〇四九
	公用地費	二五、三七八		二五、三七八
	用品調達費	二、〇九三、三七五		二、一四、八七三
	都市計畫事業津貼	一〇〇、四二六	三一、五〇〇	一〇〇、四二六
	附近土地區劃整理地區事業費	九五八、三三九	五、〇二六、一三六	五、九八四、五二七
	都市計畫事業費	二九、三三三、〇八一	△四一、九二九、一一九	八七、四三四、九三三
戰災復興費	一三三、八八四、五六六	△三六、八六九、四八三	九六、〇一五、〇八三	
計				
豫算計	各資(基金)各町費	三六		三六
豫算計		三六		三六

3. 其の他の會計

七、市債現在額

區分	種別	當初借入金額	既償還額	償還額	殘額
一般會計	教育費	四、二二、五〇〇	一、四〇、七三九	二、七九、一七六	三、〇六三、〇八二
	水道費	三、四三、〇〇〇	三三、九七五	三、〇六三、〇八二	四、一八四、〇五二
都市計畫事業費	其他費	四、八三、四〇〇	二、九四、八九八	四、七、六九五	三、〇九〇
	計	五二、四七三、九〇〇	四、七七、一〇六	四、七、六九五	四、五六七、九〇一
公益質屋費		七、〇四六、〇〇〇	二、四七八、〇八一	四、五六七、九〇一	九、九四八
計		五三、七八三	四三、八五三	四、五六七、九〇一	九、九四八

會計	戰災復興費	二、八九七、〇〇〇	二、八九七、〇〇〇
計	計	三八、九六六、七八五	二、五二一、九七六六
合	計	八二、四七〇、六八五	七、三〇〇、五六三六
			七四、一七〇、一五七

八、收入支出命令發行について

昭和二十二年度所屬收入、支出命令の發行件數並發行金額左の通り

種別	件數	金額	摘要
收入命令	九三三	一三九、八四〇、五七六九	
支出命令	一八、〇七七	一七、五六二、三三二六	

總務局 稅務課

一、課稅物件現在數

種目	員數	種目	員數
家屋	二、九七六	市民稅者	四九、五四一
船舶	八二六	屠宰稅者	三九二
自動車	六八八	有租地筆數	九〇、五六
舟車	六、二九〇	地租納稅者	二、九六三
自轉車	三六	營業稅者	七、五〇〇
金庫	一四、〇五〇	所得稅者	三〇〇
	七五	臨時利得稅者	一
	六九		

二、課稅物件異動數

種目	課稅標準申告	減失申告	種目	課稅標準申告	減失申告
家屋	一、七六一	一、三五〇	自動車	二六九	八
船舶	五	四	電柱	三三六	二五〇

漁業權	備人	一四
舟	地目變換	七〇〇
荷車	分合筆	六五〇
金庫	官地成	三〇〇
自轉車	登記濟通知	一、八〇〇
扇風機	其他	
犬	其	
	八八	
	二〇〇	
	三〇〇	
	二〇四	
	二六	

三、令書並に督促狀發布

區分	納稅告知書並徵稅令書	督促狀	計
國稅	一一、一九五		一一、一九五
縣稅	九四、〇一八		一一〇、〇九四
市稅	九三、〇五八		二〇、〇九四
都市計畫稅	四三、四六六	一四、三六八	五七、七三四
縣稅々々外			
市稅々々外		五四、四五六	二九六、一六六
計			

四、納稅成績

區分	現年度納稅額	前年度納稅額	同歩分	過年度納稅額	同歩分
國稅	五、〇四九、一一〇〇	二、八七、五〇二六	●五六〇		
縣稅	八、一八三、九六四〇	三、九六八、七三八七	●四八五	三五四、一八一〇	一八七、五三九九
市稅	八、二七八、五九九六	三、二九四、一七九六	●三九八	一、二四一、八四三八〇	五〇〇、四六三〇五
都市計畫稅	一、七四五、一三六八	六六三、一五〇三	●三八〇	三五六、四〇八九五	一五六、五八一五三
計	三、二五五、八〇〇四	一〇、七八三、五七〇四九	●四五五	五、九五二、四三四五五	八四四、五八二五七

五、納稅施設團體に於ける納稅成績

調定人員	納稅額	納稅人員	同歩分	組合數	組合員數
五、六四七、六六〇〇	四六、二四〇	三、八〇七、八三七四三	●六七四	●六三三	三二二
					四六、二四〇

六、市稅及諸收入金滯納處分件數

種別	前期末了	本期分	計數	解除件數	未了件數
通貨差押		二、五九二	二、五九二		
物件差押		二	二		
債付差押		一	一		
交付要求					
所有權以外の財産差押		二、五九五	二、五九五		
計					

七、縣稅及諸收入金滯納處分件數

種別	前期未了件		本期分		計數	解除件數	未了件數
	件	數	件	數			
通貨差押				二、五六〇	二、五六〇		
物件差押				二	二		
債件差押				一	一		
交付要求							
所有權以外の財産差押							
計			二、五六三		二、五六三		

八、徵收嘱託及受託件數

種別	前期未了件		本期分		計數	完結件數	未了件數
	件	數	件	數			
嘱託		三〇〇		一、一八三	一、四八三	三八八	一、〇九五
受託		四		三九三	四三六	八〇	三五六
計		三〇四		一、五七六	一、九一九	四六八	一、四五一

民生局戶籍課

一、身分について

種別	件數		種別	件數	
	本籍人	非本籍人		本籍人	非本籍人
婚姻	四、〇二二	一九九	家督相續	二、〇八二	二、〇八二
離婚	五六三	一八	轉籍	九六五	九六五
養子縁組	六七二	一三	分家及廢絶家再興	三六一	三六六
養子縁生	一八〇	一	後見人及保佐人	三三	三三
出生	七、八二九	二、九六二	失踪	二	二
廢家及絶家	一三〇	四	入籍離籍及復籍拒絶	三三四	三三四
家督相續人指定	五		戶籍訂正	七	八
私生子認知	三五	二	隱居	一〇三	一〇三
國籍得喪	五		其他	三三	三三
氏名及家籍變更	二	三	計	二四、三三五	二八、六五七
家督相續人廢除	一				
創立	七				
死亡	五、八八四	一、二〇六			

二、復員について

種別	件数	種別	件数
將校名簿作製	一五	戦亡者に關する証明	三八四九
同 變更届	七	兵事に關する証明	一、二六五
同 取消願	三	其他往復文書	二八、五五八
復員届	一、五六九	合計	三六、二四七
未復員届	八六三		

三、寄留について

種別	件数	種別	件数
入寄留届	四、五六六	出寄留届	三、二三四
寄留届	一、三九〇	復歸届	一、五六
退去届	一〇八	轉寄留届	二、〇一〇
抹消通知	四七	第十一條用紙	一、五〇〇
抹消届	一、九三	更正及訂正	一、二五五
寄留届	一五六	合計	一六、六七〇

四、謄抄本、閱覽、証明について

種別	無手数料		有手数料		合計 (件数)
	件数	金額	件数	金額	
戸籍謄抄本	四八六	四〇、五六七	一〇七、五〇一	一〇、〇五三	四一、〇二〇
寄留謄抄本	—	六八五	六、七五三	四八五〇	六八五
戸籍簿閱覽	一〇七	六、七五三	九、一六	六、七五三〇〇	六、八五九
身分証明	一四	九、一六	三三、二四五	九、一六八四〇	九、一四〇
印鑑証明	—	三三、二四五	一五七、一五二〇	三三、二四五	三三、二四五
合計	六〇七	八九、三七五	一五七、一五二〇	一五七、一五二〇	八九、九八二

五、人口動態について

種別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	計
出生	七九	五四四	六三三	五一	五〇五	五三〇	五九八	六六	六六六	五、三七四
死亡	二六六	三六六	三三八	二五五	二六八	二六九	二八四	二四三	二二八	二、五二七
結婚	三三	二七	三五	三六	三三	三三	三七	三三	三四	二七八
離婚	一八九	一七三	二八	一九〇	三九一	二九六	二七七	二〇七	三三五	二、一三六
離婚	三〇	二四	二七	三三	三五	三四	二四	二四	三二	二五二

六、其の他

種別	件数	種別	件数
既決犯罪通知書受附	36	刑執行猶豫取消通知書受附	1
犯罪者恩赦通知書受附	13	身元照會書發送	286
破産通知書受附	1	身元調査書回送	187

民生局學務課

一、小學校
一、兒童數及學級數

校種別	兒童數		學級數	兒一學級平均數
	男	女		
牛田町	430	453	18	43.6
荒町	310	336	13	50.3
尾長町	444	445	17	52.2
賀崎	133	135	6	53.0
青原	591	564	3	43.0
比段	408	405	3	58.1
皆仁	746	735	4	53.5
大楠	557	488	2	56.9
仁保	294	260	1	55.0
大保	306	337	1	46.0
宇品	153	168	1	45.2
似島	91	168	1	45.8
白島	233	168	1	51.3
職島	33	89	1	33.5
袋町	370	383	1	44.4
計	435	499	7	62.0

青段比皆仁大楠字似白幟袋竹大千中廣本神舟江天觀大

治 手

崎原山實保河那品島島町屋町田島瀨川崎入波滿音芝篠

一三三三六五七 | 五 | 三九 | | 〇三三三三九八八四四三三六五

一九三三三六二五 | 五 | 二九 | | 〇〇三三三三三八八二四〇三六七

| | | | 四二 | | | | | | 二一 | | | | 三三 | 八

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

竹大千中廣本神舟江天觀大三大己古草

手

屋町田島瀨川崎入波滿音芝條斐田津

二、教職員數

計

二、三六三

二、二七四

二、三六七

四四六

五〇、八

校別 種別 教員數 教諭 助教諭 養護教諭 養護婦 事務員 事務員 備

矢尾荒牛 神 賀長町田	七 一五 一五 二二	七 一五 一三 二						
-------------------	---------------------	--------------------	--	--	--	--	--	--

己斐田	三	三	三	三	一	一	一	一	二
古田	三	二	二	三	一	一	一	一	一
草津	三	三	三	三	一	一	一	一	二
計	五三	四三	三	六	二六	二八	二四	四八	二

二、青年學校

一、生徒數及學級數

校名	種別		學級數	校長	教諭	指導員	事務員	備
	男	女						
第一青年學校	四七四	一〇	四八四	二	一	四	四	一

三、新制中學校

一、生徒數及學級數

校名	種別		學級數	校長	教諭	指導員	事務員	備
	男	女						
第一中學校	三三三	二二	五七三	一	一	一	一	一
第二中學校	二七	八三	一一〇	一	一	一	一	一
第三中學校	一七四	一五	一九九	一	一	一	一	一
第四中學校	八〇	五六	一三六	一	一	一	一	一
第五中學校	三〇八	一六三	四七〇	一	一	一	一	一
第六中學校	一五九	一〇三	二六一	一	一	一	一	一
第七中學校	一五一	八四	二三五	一	一	一	一	一
計	一、四二二	八三三	二、一七四	四	四	四	四	四

二、教職員數

校名	種別	學年						計
		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	計	
第一中學校	教諭	二六	一					二七
第二中學校	教諭	二二						二二
第三中學校	教諭	二七						二七
第四中學校	教諭	二二						二二
第五中學校	教諭	二五						二五
第六中學校	教諭	二二						二二
第七中學校	教諭	二二						二二
計		107	一		三	七	六	一三

四、中等學校

一、生徒數及學級數

校名	種別		學級數	校長	教諭	指導員	事務員	備
	男	女						
第一商業學校	七	一	二七	一	一	一	一	一
第二商業學校	七	一	二七	一	一	一	一	一
計	一四	二	五四	二	二	二	二	二

種別	工業學校一					工業學校二					計
	機械	電氣	化學	造船	計	機械	電氣	土木	建築	化工	
校長											五
地方教官											一
教師											一
實習教師											九
囑託教師											三
囑託校醫											一
助手											三
地方事務官											二
養護婦											一
見習事務											一
備門鑑											一
夜警番											一
計	二	三	三	三	一	二	三	三	三	三	一

二、教職員數

種別	第一工業學校	第二工業學校	第一商業學校	第二商業學校	第一工業學校
校長	一	一	一	一	一
地方教官					
教師					
實習教師					
囑託教師					
囑託校醫					
助手					
地方事務官					
養護婦					
見習事務					
備門鑑					
夜警番					
計	一	一	一	一	一

種別	第二工業學校			第一高等女學校			第二高等女學校		
	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年
校長									
地方教官									
教師									
實習教師									
囑託教師									
囑託校醫									
助手									
地方事務官									
養護婦									
見習事務									
備門鑑									
夜警番									
計	七	七	八	七	七	八	七	七	八

五、工業專門學校

一、生徒數及學級數

校名	區分	第一學年			第二學年			第三學年			人員計
		人員	學級	年	人員	學級	年	人員	學級	年	
工業專門學校	機械	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
		三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
工業專門學校	土木	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
		三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
工業專門學校	工經	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
		三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
計											

二、教職員數

種別	第一學年	第二學年	第三學年	人員計
校長				
地方教官				
教師				
實習教師				
囑託教師				
囑託校醫				
助手				
地方事務官				
養護婦				
見習事務				
備門鑑				
夜警番				
計	七	七	八	一〇八

民生局社會教育課

一、天然記念物、史蹟について

昭和二十一年十二月より國寶の指定、重要美術品等の認定並に史蹟、名勝、天然記念物の調査を実施す

二、宗教について

宗教團体法の廢止により宗教法人令に基き事務取扱中の取扱件數左の通り

- (1) 宗教法人設立届 十四件
- (2) 住職就任兼務届 二件
- (3) 寺院名稱變更届 二件

三、出版物及著作權について

昭和二十二年五月十日政令第三十九號に依り出版及び著作權に關する事務を内務省より文部省に移管されたので當市に於ても七月十日警察署より之が事務を引繼ぐ

本期間中に取扱つた件數左の通り

- 出版物届出 九件
- 出版物變更届 三件

四、文化の向上普及について

昭和二十一年十一月 改正憲法公布記念祝賀會舉行

同講演會、音樂會、繪畫展、ポスター展開催

同記念歌一般募集同入選發表演奏會開催

昭和二十一年十二月

安藝郡舟越小學校に於ける社會教育研究へ參加

昭和二十二年二月

社會教育振興協議會開催

〃 四月

「改正憲法早わかり」パンフレット八萬冊市民へ配布

〃 五月

改正憲法實施記念祝賀大會舉行

同講演會、音樂會、華道展開催

成年式舉行

子供デー開催

五、貯蓄獎勵について

昭和二十二年三月 救國貯蓄事務打合せ會開催

〃 五月 改正憲法實施記念貯蓄勸奨

〃 六月 貯蓄事務主任者事務打合せ會開催

〃 七月 救國貯蓄運動推進關係者講習會參加

〃 九月 貿易再開救國貯蓄特別運動標語募集(兒童)

六、圖書館について

一、現在比治山山陽文德殿に於て假設開館利用者數は月平均左の通り

學 生	男 三三人	官 公 吏	男 八人	宗教教育家	女 七人
實 業	女 七人	其 他	女 一人		
	男 六人		男 一人		

二、藏書數内容別

總記	二	精神科學	二七	歷史科學	一八	社會科學	四二	自然科學	四五
工藝學	三八	産業	一六	美術	二二	語學	六	文學	二二
計	四二七冊	外に疎開中の和漢古籍八五〇〇冊							

三、職員現在數

館長	一	司書	二	事務員	一	守衛	一
----	---	----	---	-----	---	----	---

七、体育について

本期間中實施せる行事左の通り

昭和二十二年二月	第一回市民ハイキング	昭和二十二年七月	第一回廣島市少年野球大會
三月	第一回廣島市内巡回競走	八月	第二回廣島市水泳大會
四月	第二回市民ハイキング	九月	第二回國民体育大會廣島市豫選
五月	第三回市民ハイキング	十月	第四回廣島市民綜合体育大會
六月	改正憲法普及記念祝賀軟式野球大會		第六回市民ハイキング
七月	第四 市民ハイキング		第七回市民ハイキング
	廣島市軟式野球選手權大會		學童水泳大會
	第五回市民ハイキング		第一回青年スポーツ大會
	職域對抗排球選手權大會		B級軟式野球選手權大會
	六十才以上軟式野球選手權大會		第二回國民体育大會出場

八、青少年團について

昭和二十二年九月

東京都、郡馬、長野、山梨の青年運動調査

都市と農村青年團懇談會開催

十月

萬國少年團(ボーイスカウト)廣島市支部結成

九、各種團體調査について

昭和二十二年十月各種團體實体の一齊調査を行つた

調査件數左の通り

青少年團体	一〇八件	宗教 團体	十一件	婦人 團体	十三件	政治 團体	八件
職業 團体	一三八件	文化 團体	五七件	労働 團体	三九〇件		
計	七二五件						

一〇、各種講演會講習會について

昭和二十二年三月

新生活設計婦人懇談會開催

十月

粉食調理講習會開催

民生局 商工課

一、商工業調査について

種	類	調査件数	摘
工場	事業場業態調査	三六三	
商店	街調査	五	
	輸出適品取扱業者實態調査	一四	
商工業	協同組合員調査	五	

二、一般調査について

種	類	調査回数	摘
廣島	港灣調査	一	
都市	調査	一	中國軍政部の命に依る

要

三、廣島工藝協會の設立斡旋について

廣島市及びその周邊一圓の金屬、木竹工藝關係有力業者約七十名を網羅して昭和二十二年六月十九日廣島工藝協會を設立し輸出工藝化の指導獎勵基盤を作る

四、郷土工藝品振興展覽會開催について

自八月一日至八月六日(六日間)平和祭協會、廣島工藝協會と共同主催で、「郷土工藝品振興展覽會」を福屋地階で開催、貿易應貸出し輸出見本五十點、工藝協會出品物三百五十三點を展示す、觀賞入場者一萬二千九十七名

五、金融について

- 一、事業金融について
 - (1) 事業金融通帳交付(法人及びこれに準ずる団体) 九七件
 - (2) 個人事業金融通帳交付 三〇〇件
 - (3) 個人事業資金拂出証明書交付 一〇件
 - (4) 勞務賃金拂出証明書交付 一七〇件
 - (5) 個人事業者店舗増築及び改築費拂出証明交付 六件
 - (6) 事業者交通諸費拂出証明書交付 九件
- 二、個人金融について
 - 建築費拂出証明書交付 二五件

六、貿易振興について

- 一、九月十五日ハワイ民間貿易使節藤井茂雄氏を迎え世界貿易の動向並に本市特産品の貿易對策について懇談會を開催。
- 二、十月十七日ハワイ民間貿易使節宮本隆一氏外四氏を迎え、市會貿易振興委員會と共に懇談會を開催。
- 三、此の間商品の斡旋紹介に努め和傘は假契約の段階にある。

七、工場誘致について

- 一、佐竹代議士より輸出向罐詰工場廣島誘致の内談あり、大和紡績廣島工場を豫定して誘致斡旋に乗り出す
- 二、九月二十六日山本副議長、松本議員、波多野議員上京。佐竹代議士の斡旋により罐詰工場企畫者關東生産者同盟理事長西村勇丈氏並に關係者と懇談、廣島誘致を懇請
- 三、十月十九日佐竹代議士並に西村勇丈氏を迎え、産業委員會と合同で輸出向罐詰工場廣島誘致懇調會を開催。直接大和紡績廣島工場との交渉斡旋

八、廣島港開港指定について

- 一、中國、四國を約する一大門戸として、廣島港開港指定方、各方面に運動を開始し、七月十五日廣島港開港指定陳情書を、大藏大臣、運輸大臣、厚生大臣、その他關係方面に發送
- 二、九月九日第二回貿易振興委員會に於いて、開港指定運動に關し郷土選出代議士諸氏の協力方依頼することとなり、偶々松本外務政務次官在廣中であるのを機會に、九月十二日同外務政務次官を迎え、開港指定斡旋方懇願し、尙貿易振興委員會を中心として「日本貿易の將來性」來朝中バイヤーの日本商品に對する聲」等について座談會を開催

九、店舗住宅について

名稱	所在地	食料品	其の他	計	摘	要
己 斐店舗住宅	己 斐町	七	一三	二〇	昭和二十一年六月五日開店	
皆 實店舗住宅	宇品町十七丁目	七	七	一四	昭和二十一年六月二十日開店	
横 川店舗住宅	横川町三丁目	一三	一三	二六	昭和二十一年七月十五日開店	
鷹野橋店舗住宅	大手町八丁目	一〇	一三	二三	昭和二十一年八月一日開店	
松 原店舗住宅	松 原町	一三	二二	三四	昭和二十一年十二月十日開店	

十、衣料品の配給について

- 一、衣料品購入券配給總數(九月三十日迄)一、五二、八七五點
- 二、纖維製品配給地區委員會設置
町内會制の廢止に伴ひ纖維製品配給委員會の下部機關として四月より出張所管轄地區毎に地區委員會を設置し、衣料品の末端配給を管理す

- (1) 地區委員會 一八箇
- (2) 地區委員 四七名
- (3) 地區委員會開催 四半期毎に一回とするも、必要に應じ臨時に開催す
- 三、衣料品小賣業者の登録十月一日より衣料品配給規則の施行に伴ひ衣料品小賣業者の登録を行う
- (1) 廣島縣衣料品小賣業者諮問委員會の地區別機關として廣島市専門委員會を設置し、小賣業者の登録を調査審議す
- (2) 委員會開催 二回
- (3) 登録の實施 自九月二十八日至九月三十日
- (4) 登録店 一五店舗
- 四、普通衣料切符の交付(十月一日より)二四、三三三枚

十一、日用品雜貨の配給について

品名	目	規格	箱數	數量
燐石	寸	家庭用	箱	八三、〇六箇
石	寸	家庭用	箱	一五八、四四九箇
燐石	寸	家庭用	箱	五五、三九八本

十二、資源回収について

故繊維特別回収実施

イ、回収量

五、七九貫六〇匁

ロ、回収期日

自七月十八日

至七月二十六日

十三、営業許可について

青果物統制令による青果物販賣許可申請
水産物統制令による水産物販賣許可申請

件名	申請数	許可数	摘要
青果物統制令による青果物販賣許可申請	七五	五七	登録制施行により廢止さる
水産物統制令による水産物販賣許可申請	四六	四六	

十四、商工業者事務手續について

一、商工協同組合法による商工協同組合設立認可申請

申請数

二二件

認可数

一〇九件

二、事業内容証明書交付

二八件

十五、度量衡について

一、度量衡法による營業免許申請

申請数

二五件

許可数

九件

十六、平和祭協會の發會について

廣島商工會議所及び廣島市觀光協會共同斡旋により、六月二十日廣島平和祭協會を設立し、三十萬圓の特別分擔金を支出八月五、六、七日第一回平和祭を執行し、平和塔を建設した

二、度量衡取締

乙種取締

検査數五五件

民生局工業指導所

一、機械部

電力の制限と燃料不足のため著しく生産の隘路となつてゐるので當分の間は機械機具の修理を主とし其の外一般業者と連絡を保ち技術的指導と併せて當所設備の利用を計らんとする

二、木工部

家具木工生徒の短期養成を行ひこれが増産に寄與せしめ且つ又た輸出工製品の試作研究に邁進せんとする

一、機械部

(1) 設備の使用事項

萬能研磨盤	四件	平面研磨盤	一件	形削盤	五件
六尺旋盤	四件	八尺旋盤	十一件	穴堀機	三件
四尺旋盤	十四件	丸鋸機	二件	プレーナー	三件

(2) 機械器具製作事項

機械類修理	五件 (五個)	器具の試作並に製作	三件 (三個)
農器具試作	三件 (二七個)	本市水道用部品製作	四件 (九〇三個)
本市會計課印刷機修理	一台 (無料)		

(3) 一般業者指導事項

鑄物技術指導

二〇件

機械類製作技術指導
農器具製作技術指導

二件
七件

二、木工部

(1) 家具類製作事項

家具製作	十件 (五〇個)
家具試作	五件 (十四個)
水泳競技用品	一件 (一、〇〇〇個)

(2) 木工生徒養成

イ、目的 家具木工並びに工製品の製作に關する技術を短期修得せしめるため養成を行ふ

ロ、工科、家具科

ハ、入所資格 小學校卒業程度以上學力ある十四歳以上の者

ニ、修業期間 六ヶ月

(3) 修了生及び現在數

一、修了生 本年第一回修了生 七名

同 第二回修了生

四名

計

十一名

二、現在生徒

三名

民生局食糧課

一、消費物資の配給について

一、物資特別配給事務取扱件数

配給対象	品目	件数	数量	配給対象	品目	件数	数量
臨時米	臨時米	一、〇九五件	三〇、八〇七	豆炭	豆炭	一三五件	一六、四七〇罐
蔬菜	蔬菜	三	七五	薪炭	薪炭	五、五二二	二、四三三罐
鮮魚介	鮮魚介	六三	一、七三貫六三	人口哺乳用	粉乳	九、八二四	一三、四九六袋
煮干	煮干	四三	一、四三貫一〇〇	練乳	練乳	九、六二七	二、一九九升
醬油	醬油	九六三	一、四三貫三五七	穀粉	穀粉	一五、六四九	二、一九九升
味噌	味噌	七、八九四	五、〇七五升	砂糖	砂糖	三、三六二	一〇、九八五斤五
食用油	食用油	九	四四三升	牛乳	牛乳	一、六七九	一、六七九罐
果物	果物	三六	三、〇四七東	水飴	水飴	一、六七九	一、六七九罐
清酒	清酒	九、四五四	三、〇四七東	砂糖	砂糖	二、三六二	一、六七九罐
木炭	木炭	二、八〇八	三、〇四七東	砂糖	砂糖	一、六七九	一、六七九罐
煉炭	煉炭	六	四七升	砂糖	砂糖	一、六七九	一、六七九罐

給食用	給食用	給食用	給食用	給食用	給食用	給食用	給食用	給食用	給食用	給食用	給食用	給食用	給食用	給食用	給食用	給食用	給食用	給食用	給食用
臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米	臨時米
鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介	鮮魚介
蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜	蔬菜
煮干	煮干	煮干	煮干	煮干	煮干	煮干	煮干	煮干	煮干	煮干	煮干	煮干	煮干	煮干	煮干	煮干	煮干	煮干	煮干
醬油	醬油	醬油	醬油	醬油	醬油	醬油	醬油	醬油	醬油	醬油	醬油	醬油	醬油	醬油	醬油	醬油	醬油	醬油	醬油
味噌	味噌	味噌	味噌	味噌	味噌	味噌	味噌	味噌	味噌	味噌	味噌	味噌	味噌	味噌	味噌	味噌	味噌	味噌	味噌
食用油	食用油	食用油	食用油	食用油	食用油	食用油	食用油	食用油	食用油	食用油	食用油	食用油	食用油	食用油	食用油	食用油	食用油	食用油	食用油
果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物	果物
清酒	清酒	清酒	清酒	清酒	清酒	清酒	清酒	清酒	清酒	清酒	清酒	清酒	清酒	清酒	清酒	清酒	清酒	清酒	清酒
薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪
薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪
薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪
薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪	薪

乳幼児用飴菓子配給

配給対象 數年十才以下

人員數 三九、八六〇人

配給數量 六三七貫七六〇

配給年月昭和二十一年十一月

輸入放出キャンデー配給

進駐軍の好意によるクリスマス用

配給対象 數へ年二才より七才まで

人員數二九、六二八人

配給數量

二九七貫匁

配給年月昭二十二年一月

輸入放出ミルク配給

配給對象

人口混合養兒(一才未満)

人員數 一、七一人

配給數量

八、三四四個

配給年月昭二十二年四月

養食罐詰配給

配給對象

妊産婦用

人員數 八、六八六八

配給數量

八、六八六六

配給年月昭二十二年五月

平和祭用配給

輸入キャンデー

配給對象三才より五才まで

配給數量 一八、六四二個

牛豆罐詰

同

一般家庭

同 五五、六五六個

蒲 銚

同

同

同 一三、八一八枚

煎 子

同

同

同 二、二九貫六

若 布

配給對象

一般家庭

配給數量 二、二九貫六

輸入放出砂糖配給

配給對象

數へ年七才以下

人員數 三五、八三二人

配給數量

一七、九一五斤

配給年月昭二十二年九月

輸入放出バター配給

配給對象

一般市民

人員數二二二、七九二人

妊産婦、青年

人員數 四八、一八〇人

配給數量 一五、〇六七匁〇六七

配給年月昭和二十二年九月

二、物資一般家庭配給について

(1) 主 食

精米一七一〇分

麥類七六〇分

其他一〇五〇分

缺配十三日分

(2) 蔬 菜

昭和二十一年十一月大根苺菜類の最盛期に入り一日平均一萬數千貫の集荷を見るに至り一般消費者より配給辞退する者續出する状態となり之れがため自由販賣實施し現在に至る

(3) 鮮魚介類

鮮 魚 三六一、三四七貫 介 類 一三、一五七貫

(4) 調味料

醬 油 五六、五五七斗 味噌 一三六、五〇〇貫 酢 八五九石

(5) 薪炭配給

木 炭 一、六六三、八四五匁 薪 一、一五六、九二三束 煉 炭 三、一三五、六四三匁
タドン 四五二、四五八匁 豆 炭 五二七、五六〇匁

三、食糧對策について

一、主 食

(1) 十一月一日増配決定し平均二合五勺の配給となつたが本縣は食糧出廻りの關係上十二月一日附を以て通帳更新の上十一月一日に逆上つて増配實施す

(2) 遅配取戻運動實施するにあたり食糧管團並東西兩署、町會聯盟及本市食糧對策委員會、本市、合同協議會に於て決議し産地に對し懇請を行ふと共に緊急輸送遅配取戻完遂にあたり左記の通り實施す自三月十日至三月二十日山縣郡双三郡高田郡米穀搬入八七、八二〇俵貨物自動車延一四五台

(3) 六月七月二ヶ月間遅配對策補給食として團子(一食分三個)食糧管團配給所として多子家庭、戰災者及引揚者に優

先的に自由販賣せしめた糠と澱粉を原料とした團子一一九万個採苗漬甘藷を原料とした團子二七五萬個

二、副食

- (1) 正月用として特種野菜、蓮根、牛蒡、人參、ねぎ、玉葱の集荷促進運動をおこし出荷者に對し出荷量十貫に付牛豆罐詰一個報償として贈與す
- (2) 二月二十六日蔬菜類端境期突破懇請班による搬出懇請のため安佐郡、山縣郡、佐伯郡、安藝郡に懇請す
- (3) 鮮魚による蛋白質の確保補給をなすべく鮮魚突撃集荷対策を樹立し本市食糧対策委員及市吏員更に關係団体業者を以て懇請班を編成し生産縣たる長崎、福岡、山口、島根各縣を懇請し左記の通り集荷す鮮魚集荷數量三三、二六八貫
- (4) 下關市日東魚業株式會社より八月五日本市平和祭用の蒲鉾原料として無償供給されし鮮魚二、一〇〇貫を以て蒲鉾に加工製造し全市民に無償配給す

四、燃料対策について

- 燃料危機対策として食糧対策に併せ燃料対策委員を選定す實施事項左の通り
- (1) 救援薪供出のために左記の各部に對し出荷懇話班により懇請す安佐郡、高田郡、山縣郡
- (2) 其の他山口縣、九州方面より豆炭の集荷のため關係方面に懇請す
- (3) 縣農業會披の瓦斯炭をも家庭用に振向け方懇請すると共に左記産地農業會に對し協力方懇請す山縣郡、安佐郡、双三郡、比婆郡、高田郡の各農業會
- (4) 薪炭供出懇請並生産供出督勵費の交付廣島市向け出荷割當の左記各郡に懇請班を組織し關係郡に對し生産供出督勵費を交付懇請す山縣郡、安佐郡、比婆郡、高田郡

火 丸

五、牛乳対策について

電力不足に伴ふ乳兒用牛乳の腐敗防止のため氷による牛乳處理を行はしめるため助成をなし牛乳の圓滑な需給調整を圖るため廣島牛乳株式會社を改組せしめ生産處理配給の有機的關係を保たしめる爲の助成をなす

六、青果物及漬物登録について

農林省令第三十六號臨時物資需給調整法に基き青果物及漬物配給規則制定せられ八月七日登録開始八月三十一日登録完了

- 一、十月一日登録制實施
 - 一、登録店 三七六
 - 一、登録人員 三四、九八五人
- 一、荷受機關
 - 青果物 三
 - 漬物 三
- 七、食糧助長獎勵について
 - 燃料關係 二件
 - 其の他 二件
- 八、食糧対策協議會
 - 一九回

二、農産について

一、主食の供出状況

年 度 別	種 類	供 出 割 當	供 出 實 績
昭和二十一年度	米	二、100石	二、110石

同 甘 薯 四〇、一、〇〇〇貫
 昭和三十二年 麥 米石換算五〇石 六三石
 同 馬 鈴 薯 二八、〇〇〇貫 一〇、一、〇〇〇貫

二、農産指導

(1) 主食増産 六一二件 管理米麥其ノ他 二〇三件
 必需蔬菜 五二〇件 果樹花辨 一一〇件

(2) 秋期端境期に際し蓮根早堀を奨励し約三万貫を出荷せしめた

(3) 蔬菜採種圃を設置し採集種子を農家に配布し指導す

採種數量

品 目
 金澤節成胡瓜 五斗四
 中長茄子 四斗一
 菜 豆 六斗一
 時無大根 一石九斗三
 美濃早生大根 二石八斗五

三、戦災地並空荒地利用食糧増産について

裸 麥 幹旋 麥 幹旋

大東亞菜苗 八〇、〇〇〇本幹旋 玉 忽 二〇〇、〇〇〇本幹旋

春夏作用糖黍苗五〇、〇〇〇本無償配布、大豆三斗豆種子一石無償配給甘藷苗八一二、五〇〇本(内農家用四〇〇、五

〇〇本) 幹旋秋冬作用蔬菜種子約二石幹旋

四、生産資材其の他物資配給について

生産肥料 六、〇八六貫(硫安換算)

農 機 具 一六件

織 維 製 品 一八件

其の他物資 三二件

五、許可及副申其の他について

精米精麥製粉其の他食糧管理法に基く許可副申 二八件

六、農業助長奨励について

團 体 助 成 一件

七、食糧増産協議會

諸 協 議 會 一六回

講 習 會 八回

八、肥料配給公團設立による登録について

七月十日より登録制實施 登録店舗 市農業會 登録戸數 三、九六七戸

九、食糧調整委員會について

臨時農業調整法に基き委員選舉を計る 委員會開催

七回

十、元軍用地使用状況

農耕地として一時使用認可総面積 八七町三反四畝
 現在開墾面積 四九町三反五畝
 差引三八町余は元東練兵場、金輪島等の山林その他開墾不能地である
 十一、山林の開墾について

區分	個所數	開拓認可面積	開墾農家戸數
國有林	一二	一〇町	一三五戸
民有林	五	五町	七五戸

十二、市外に開拓者としての入植者について

縣内入植者	一七戸	五九人
北海道入植者	四四戸	一九三人

十三、増産協議會について

協議會	七回
講習會	四回

三、廣島市農地委員會について

一、農地委員會委員選舉會について

(1) 昭和二十一年十二月二十六日開催

有権者總數地主五七二、自作三、三八七、小作二、九二〇、計六、八六九名

當選委員數地主五、自作三、小作人計十六名

(2) 補欠委員選舉會昭和二十二年九月二十九日開催

補欠選舉委員數地主一、小作一計二名

二、農地委員會開催回数

全委員會	一四回	小委員會	六回
------	-----	------	----

三、農地買収決定について

所有者數	八七人
------	-----

面積	田四町五反七畝九步	畑五町二反二三步	合計九町七反八畝二步
----	-----------	----------	------------

四、農地貸借解約許可申請審議について

適當と認め進達したもの	一〇件
-------------	-----

申請者の申出により却下したもの	一四件
-----------------	-----

五、農地使用目的變更申請審議について

適當と認め進達したもの	二七件
-------------	-----

申請者の申出により却下したもの	五件
-----------------	----

承認したもの(一團地五〇坪未満の地)	二〇件
--------------------	-----

六、農地所有權の讓渡許可審議について

適當と認め進達したるもの	一件
--------------	----

却下したもの	二件
--------	----

七、農地賃貸権の設定承認申請審議について

承認したもの 二件
却下したもの 一件

八、農地の紛争調停

九件

九、市内居住者に對する買収令書の交付

二九〇件

四、畜産について

一、畜産指導について

(1) 牛馬、山羊、豚兔、鶏、の飼養管理指導 二八一件

(2) 牛馬、山羊の疾病治療 二九〇件

(3) 乳質検査 七二〇件

(4) 乳用山羊の購入斡旋 一三件

二、畜産事務について

(1) 獣醫師免許副申其の他副申 二五件

(2) 飼料配給 一六〇件

(3) 其の他 一一八件

三、協議會について

(1) 乳牛用ビール粕確保対策協議會 二回

(2) 講習會 二回

(3) 乳兒用牛乳供出協議會 二回

(4) 其の他 六回

五、水産について

一、水産指導について

(1) 漁業生産供出制實施強化指導す

(2) 供米完了感謝水産物供出促進運動に當り督勵指導す

(3) 本市沿岸の未利用地調査選定し浅海増殖漁業經過指導す

(4) 筏式牡蠣養殖獎勵並に牡蠣増産指導

(5) 介類苗移殖による増産指導

(6) 海苔養殖共同經營指導

(7) 漁業用資材並供給指導

(8) 其の他 二八件

二、免許副申について

漁業權免許及副申其の他 四八件

三、水産業の基礎資料たる各種漁業實態調査に努む

四、水産登録について

(1) 鮮魚介類登録制 六月一日實施

同 九月一日第二次
 登錄人員 一三五
 農林省令第六二號
 登錄人員 二〇四、四一八人
 (2) 加工水産物登録制
 九月一日實施
 登錄人員 二二五、六五一八
 五、水産助長獎勵について
 牡蠣共同處理場建設事業助成
 淵崎牡蠣共同處理場
 草津牡蠣共同處理場
 六、水産關係協議會について
 諸協議會 九回

民生局 屠家畜市場場

一、屠場について

頭數使用料	畜別	成	牛	犢	牛	馬	豚	羊	計
屠殺頭數			六三七頭		三頭	二七頭	一七頭	五頭	七三頭
使用料			三、四三〇		八四〇	一、五三二〇	六九八〇	三五〇〇	三〇、七九七〇

二、家畜市場について

件數使用料	種別	牛	賣	買	計
取扱件數				三件	
使用料				三〇〇〇	三〇〇〇

民生局製塩所

一、製塩事業について

一、工事完成経過

昭和二三、四 工事完了

立會者市建築課、農漁課、工事請負業者

第一回釜漏浅試験実施

同

第二回技條架送水試験

同

第三回釜汽醸試験

同

大藏省より國庫補助金を受く

工事完成試験終了につき建築課より農漁課に正式受理す

技條架運轉開始のため濃縮場内の整理除掃

同

同 六 鹹水採集開始

同 七 製塩三二〇延

同 八 電気變壓器全容量八〇〇キロワットを四〇キロワットに變壓器を取替

同 九 八、九、一〇月中に於ける鹹水採集量約五〇〇石

同 一〇 關係官廳(專賣局及商工局)事務報告計三十三 技條架修理延工數二三〇人

以上の如く本製塩所は生産未だ舉がらざるも場内設備に對する補修は遺憾なく實施せり

社 會 課

一、生活保護

種 別	縣費	市費	合計
-----	----	----	----

種 別	實人員	延人員	金 額	實人員	延人員	金 額	實人員	延人員	金 額	
生活扶助	居宅	一、三六五	五〇五、五五五	八四六、八一六	五、八三九	二、一三三、〇〇四	四、六七、三三九	七、三二四	二、六三六、七三九	五、〇一四、〇五五
醫療扶助	收容	六一	二二、一五〇	四四、四三五	五〇	一八、三三〇	四、五、〇〇〇	一一一	四〇、五〇〇	八九、四三五
助産扶助	居宅	二五六	九三、〇〇一	八二、九一〇	三三五	一一、四〇〇	二四六、五八一	五九一	二二四、六〇一	三三九、四九一
生業扶助	收容	二六三	九五、九六四	一六、一〇三	八三	三〇、二二四	七五、四三九	三四六	一三六、一九六	二三五、五三一
葬祭扶助	居宅	六七三	一、〇八三	六七一、五〇〇	一七	二七	一六、八〇〇	八〇〇	一、一三一	七九八、三〇〇
計	收容	一〇	三三	三、五〇〇	一三	一三、九六〇	一三	三三	一七、四八〇	一七、〇〇〇
計	居宅	二、三三七	五九九、八三三	一、六〇四、七三六	六、三〇三	二、二五三、七三三	四、五五四、八〇〇	八、六四〇	二、八五二、五六六	六、一五九、五三六
計	收容	三三四	一一八、二四四	三〇六、五三七	一三三	四八、四六四	一一〇、四三九	四六七	一六六、七〇八	三三六、九六六

二、行旅病人

種 別	越人員	新救護	計	解 放	死 亡	引 渡	計	現 在 員
男	三	二四	二七	三	六	一	一〇	一七
女	一	一五	一六	四	四	一	八	八
計	四	三九	四三	七	一〇	一	一八	二五

四、妊婦訪問指導状況左の通り

件数	一、二四八	一、一七一	一、三六〇	一、三〇六	一、九〇〇	二、一七六	二、二八八	二、三八〇	三、二六三	二、九三五	三、六八五	三、〇三八二	三、六九三
----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------

月別	二十一年十二月	二十二年一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	計	
指導件数	七〇	一三三	一〇九	八三	五五	六三	七三	一三三	一四四	八二	六六	七四	一、〇五二

二、結核豫防について

一、本期中結核患者届出状況左の通り

月別	二十二年三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	計
男	一四七	一九六	一八六	二七	一九六	一三六	一一〇	一一四	一、三五四
女	一二五	一四二	一八三	一三三	一三三	一一九	一一七	一一〇	一、〇九九
計	二七二	三三九	三六八	二九	三三九	二五五	二二七	二三四	二、四〇三

二、結核集團検診、結核豫防注射實施状況左の通り

對象種別	結核集團検診	結核豫防注射
實施項目	同上年月同上人員	同上年月同上人員

學 童

一般青年	(ツ)反應検査 (レ)線間接撮影 直接撮影 (ッ)反應検査	二十二年六月 二十二年九月 二十二年十月 二十一年十一月	一八、四〇三 一、五七〇 六四〇 二、九七五	二十一年十一月 二十二年一月以降 二十一年十一月	二、九七〇 一 豫定一四、八九九 五六三
------	--	---------------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	-------------------------------

三、防疫について

一、本期中實施したる豫防注射左の通り
(1) デフテリア豫防注射施行成績表

實施年月	豫定人員	學童の部	一般兒の部	計
二十一年自十一月		三七、三〇〇名	一〇、八三三	三六、二九〇名
二十一年十一月				三五、四五七

註 未施行及未完了者數 九九〇名之れは病者である
(2) 患者發生地域に實施したる腸チフス豫防注射施行状況

實施年月	豫定人員	施行人員	未施行人員	施行率
二十二年三月	八〇、七七名	一九、九一〇	六〇、八六七	二四、七三

(3) 臨時種痘施行成績表(天満地區及觀音校學童)

實施年月	豫定人員	施行人員	要
------	------	------	---

二十二年 四月

三、〇〇名

三、五五名

天然痘に對する恐怖心により増加す

(4) 定期種痘施行成績並に同檢診實施狀況 (自二十二年五月至二十二年六月)

期 別	施行豫定人員	出 寄 留 者	施行該當人員	施 行 類 別	
				善 感	不 善 感
第 一 期	五、四七〇	九二	四、五五八	二、九五一	三三
第 二 期	四、二九三	七五	三、五七七	四九六	二、〇〇八
計	九、七六三	一、六七	八、一三五	三、四四七	二、〇一〇
				四三	一、五四九
				二、六二四	一、〇六五

(5) 腸チフス豫防注射について

進駐軍の指令に基縣々當局より特に指示せられた新方法とアメリカ株を使用した優秀な注射液嚴密なる技術上の注意事項とに依つて十月一日より約一カ月の豫定を以て實施に着手し目下施行中である本事業は經費の膨張著したため約二分の一に相當する金額金三圓を各人に負擔せしめ醫師、看護婦の謝禮及衛生組合の事務費に充當し衛生組合の全面的協力を求めた

本期間中傳染病患者發生狀況及其頭末左の通り

病 名	發 生 數	死 亡 數	治 癒 數	未 了 數
コ レ ラ	一	一	一	一
赤 痢	五	一	一	一
赤 痢	二	一	一	一
腸 チ フ ス	一三	一〇	一〇	一三

病 名	發 生 數	死 亡 數	治 癒 數	未 了 數
バ ラ チ フ ス	一	一	一	一
痘 疹	一	一	一	一
發 疹	一	一	一	一
テ テ フ	一	一	一	一
テ テ リ	一	一	一	一
紅 熱	一	一	一	一
本 腦 炎	一	一	一	一
日 本 腦 炎	一	一	一	一
流行性腦脊髄膜炎	一	一	一	一
計	三〇八	三七	三七	二七〇

四、鼠族昆虫驅除實施について

進駐軍の特に指令した事業で衛生都市再建のため多額の豫算を計上し鼠族は四月、七月、十月、一月の四回昆虫驅除は六月より十月末まで連續作業を實施した驅除作業は主として廣島市青年連盟の協力を得て各地區青年團員の犠牲的活動により成果を修めた

一、本期間中鼠族昆虫驅除班として従事したる人員左の通り

青年團名	人 員	青年團名	人 員	青年團名	人 員
牛 田	六	楠 木	六	尾 長	六
尾 長	六	同 一	五	堀 賀	六
失 賀	六	天 滿	六	堀 賀	六
堀 賀	六	福 島	六	堀 賀	六
荒 堀	七	東 觀	六	堀 賀	六
神 越	七	觀 音	六	堀 賀	六
		一 丁 目	六	堀 賀	六
		二 丁 目	六	堀 賀	六
		三 丁 目	六	堀 賀	六
		四 丁 目	六	堀 賀	六
		五 丁 目	六	堀 賀	六
		六 丁 目	六	堀 賀	六
		七 丁 目	六	堀 賀	六
		八 丁 目	六	堀 賀	六
		九 丁 目	六	堀 賀	六
		十 丁 目	六	堀 賀	六

比治山女校	皆實	楠那	仁保	比治山本町	段原
六	六	六	六	六	二
合	江	舟	千	大	基
計	波	入	田	手	町
	六	六	六	六	六
	田	庚	古	己	南
		午			觀
		北			音
		方			三
					菱
					六

二、鼠族昆虫驅除作業實施のため使用した器具及藥劑の名稱並に數量概ね左の通り

器具		藥劑	
名稱	數量	名稱	數量
肩掛式噴霧器	三	除虫菊石油乳劑	五ガロン入ドラム罐 四〇
消毒用如露	四	D D T 液劑	五ガロン入ドラム罐 二
バケツ	三	D D T 粉末劑	五ポンド入袋 五
柄杓	四	アンツィ殺鼠劑	三瓦入袋 二、〇〇〇

三、藥劑有償配給狀况左の通り

厚生省指定防疫藥劑及廣島縣衛生部割當藥劑を一般市民に對し衛生組合、廣島市青年連合會を通じ配給した

品名	數量	品名	數量
鼠族驅除用		昆虫驅除用	

金網式捕鼠器	一五〇個	D D T 粉末劑	三、六〇〇封度
發條式鼠捕器	二五〇個	強力バクトール	一、六三延
アンツィ殺鼠劑	三、〇〇〇袋		

四、藥劑無償配給狀况左の通り

全市各世帯に對し各衛生組合又は各出張所を通じ一世帯につき五勺の割合を以て除虫菊石油乳劑を配給し昆虫驅除に協力を求めた

五、清掃について

一、塵芥處理狀况

塵芥積込人夫延數	五、四九八人
同 蒐集延戸數	四六〇、二八四戸
同 搬出重量	七二六、二二〇貫

二、尿尿汲取狀况

戰災以來食糧増産意慾旺盛となつた市民は燒跡地又は家屋の周邊に蔬菜、雜穀を栽培し之れが肥料として利用するもの全市排泄の約六四%に及び残り三六%は附近町村農家が競ふて汲取る處となり市わ直營汲取の必要がなかつた然し乍ら梅雨期の浸水家屋を豫想して臨時汲取に必要な豫算を計上したがその必要がなかつた

三、火葬場經營の狀况

中廣町向西館は戰災以來銳意之が復舊工事を計りつゝあつたが上家の竣工と共に火葬爐十基の内三基を應急修理をなし

とりあえず操業を開始した、其の後漸次工事も進捗し事務室、火夫室も新築なり火葬爐も七基使用するに至つた、三基は煙突不備のため豫備として残置したが七基の使用で需要を缺ぐことはない
 本期間中に於ける死体焼却数は左の通り

六、簡易公共事業について

事業内容左の通り
 堆積塵芥、汚物の清掃
 臨時人夫延人員 八四、〇五一
 處理面積 一六九、一一七平方米
 公共便所整備 五カ所新設

七、似島千人塚屍体處理事業について

舊陸軍用地及赤石海岸に仮埋葬してある昭和二十年八月六日の原子爆彈による戦災死者の屍体は當時の處理方法が極めて應急的であつたため遺憾な點多くこれを完全に處理して大体五カ所に散在しているものを一カ所にまとめて供養塔を建立する目的を以て實施した其の結果は左の通り

實施期間 自九月二十七日 至十月十五日 十五日間

屍体處理數 約一、四〇〇屍体
 内燒却屍體數 七六一屍體
 臨時人夫延人員 三七〇人

民生局舟入病院

一、舟入病院收容患者並びに轉歸統計

病名	前期より 越人員	本期中 收容人員	轉歸		治癒延日數	收容人員に對 する死亡人員	一人平均 治癒日數
			治癒	未治			
腸チフス	六	一三三	一〇三	六	三、三四三	二、五五	二五、一三
バラチフス		二九	二七	一	四八四	一三、七五	一六、六六
赤痢		五七	五六	一	一、三二六	一四、三八	三三、二六
疫痢		一三	一〇	三	二〇三	一六、六六	一九、九
チフテリア	二	三六	三六	〇	三九四	一六、〇〇	九、五〇
猩紅熱		三	三	〇	七九	一	二六、三三
流行性腦膜炎		六	五	一	九五	一	一五、八三
痘瘡		一	一	〇	一	一〇、〇〇	一〇、〇〇
コレラ		二	一	一	一	一〇、〇〇	一〇、〇〇
發疹チフス		一	一	〇	一	一〇、〇〇	一〇、〇〇
計(平均)	八	二七三	二四一	一〇	五、九二五	一〇、九〇	三三、二六

二、衛生試驗所について

一、依頼試験の状況左の如し

種別	無料		有料		金額
	口數	件數	口數	件數	
身体検査及衛生上協試			二六	六	三〇〇〇
咯痰検査			九七	九	八〇〇
血液検査			三	五	一、七六〇〇
糞便検査			四	六	一、七六〇〇
尿検査			三	四	三〇〇〇
その他			一、三	三	一、九四五〇〇
計			一、三	一、七	一、九四五〇〇

復興局經理課

一、復興協議

開催數 四四回

一、資材に關する協議

開催數 七回

一、轉用資材の受拂件數

件名	受入件數	拂出件數
鋼材類		二
雜品類		二
計		四

一、土地境界及地籍地圖について

區分	件數	區分	件數
官民有土地境界査定		諸區	
公簿地圖閱覽		裁判所の囑託に依り地籍圖面等返付	

二、土地建物賣買貸借及其他について

區分	買件	收補	債貸	渡借	數入	摘要
其建土區 他物地				三六 五	八	

三、土地其他評價について

區分	件數	摘要
特別補償地	二〇	道路其他市の事業に基くもの
土地	〇	道路其他の事業に基くもの

給水課

一、給水普及率

現在總戸口數	給水戸口數	百分比	摘要
五三、三六戸	三三、五四六人	六二、五〇%	
戸數	戸數	戸數	戸數
五三、三六	三三、五四六	三三、五四六	三三、五四六

二、事務件數

一、給水其の他に關する事務件數

取扱件名	件數	取扱件名	件數
給水開始	二、〇〇〇	水道使用條例違背者發見處分	二四、三
給水廢止	三、〇〇〇	其他	
納額告知書發件	八〇、五六	計	一〇一、八二六
給水各戸調査	七、三五〇		

二、給水工事に關する事務件數

取扱件名	件數	設計書調製數
設計書調製數		設計書調製數

給水新設工事申込	一、五〇〇	一、六〇〇	修繕の工事	一、九四九	一、七六三
増設位變工事	一、五三三	一、〇〇〇	其他	二、五四一	
撤去工事	二	二	計	六、三〇七	
給水栓開閉					

復興局上水課

一、配水狀況

配水總量	最多(昭三、三、〇)	最少(昭三、一、三)	平均	均量	最大	最少	平均
	二六、〇〇一 ^{立方} 米	九四、六〇〇 ^{立方} 米	三九、五三四 ^{立方} 米	六七、〇六三 ^{立方} 米	三七三 ^立	一五六 ^立	二六四 ^立

二、防火栓

公設	私設	計
一九五五	一〇〇	二、二五五

三、工事

一、戰災復興工事

工事名	起工	竣功	工事費	摘
新市町地方配水管移設工事	昭和三、二、二、六	昭和三、三、三、三	一七、六三、四〇	請負
小網町地方配水管撤去工事	昭和三、二、二、六	昭和三、三、三、七	一五、八〇〇、〇〇	同

應匠町地方配水管撤去工事	二、一、二、八	二、一、二、一	八、二、〇、〇〇〇	同
空靴町給水管撤去工事	二、一、二、三	二、一、二、九	五、六、〇、〇〇〇	同
各戶給水管撤去工事	二、一、二、三	二、一、二、三	二、七、四、〇〇〇	同
元騎兵隊跡配水管撤去工事	二、一、二、一	二、一、二、三	三、五、九、〇〇〇	請負
元野砲隊跡配水管撤去並移設工事	二、一、二、五	二、一、二、三	三、〇、〇、〇〇〇	同
猿猴橋水管橋修理工事	二、一、二、六	二、一、二、五	一、八、〇、〇〇〇	直營
瀧過池漏水管修理工事	二、一、二、一	二、一、二、三	三、〇、〇、〇〇〇	同
瀧過池漏水管修理工事	二、一、二、一	二、一、二、三	一、六、二、五、〇〇〇	同
瀧過池漏水管修理工事	二、一、二、一	二、一、二、三	一、六、四、〇、〇〇〇	同
瀧過池漏水管修理工事	二、一、二、一	二、一、二、三	一、八、五、〇、〇〇〇	同
市內橋水管橋改修工事	二、一、二、六	二、一、二、五	五、七、五、〇、〇〇〇	同
京橋水管橋改修工事	二、一、二、六	二、一、二、五	一、八、五、〇、〇〇〇	同
宇品町鐵管撤去工事	二、一、二、六	二、一、二、五	六、三、五、〇、〇〇〇	同
柳筒羽根車補修工事	二、一、二、一	二、一、二、三	一、八、二、〇、〇〇〇	同
柳筒羽根車補修工事	二、一、二、一	二、一、二、三	一、一、九、〇、〇〇〇	同
塩案井漏水修理工事	二、一、二、八	二、一、二、九	二、三、七、五、〇〇〇	同
送電線鐵塔復舊工事	二、一、二、八	二、一、二、九	五、二、五、〇、〇〇〇	同
消火栓修理工事	二、一、二、一	二、一、二、三	一、四、五、〇、〇〇〇	同
觀音橋水管布設替並撤去工事	二、一、二、一	二、一、二、三	二、一、五、〇、〇〇〇	同
祭去鐵管清掃工事	二、一、二、一	二、一、二、三	一、二、五、〇、〇〇〇	同
明治橋水管橋修理工事	二、一、二、六	二、一、二、三	八、三、八、〇、〇〇〇	同
市内各所配水管修理工事	二、一、二、六	二、一、二、三	三、四、七、八、〇〇〇	同
眞空塩素滅菌補修工事	二、一、二、三	二、一、二、三	三、二、八、五、〇〇〇	同
配水池漏水修理工事	二、一、二、一	二、一、二、三	二、四、〇、〇、〇〇〇	同
柳筒井漏水修理工事	二、一、二、一	二、一、二、三	二、〇、三、六、〇〇〇	同
變電所避雷設備修理工事	二、一、二、三	二、一、二、三	一、三、七、五、〇〇〇	同

鐵管布設替工事(細工町)	二、一、二、三	二、一、二、三	一、五、八、七、四、〇〇〇	同
寺町地方一〇〇耗管撤去工事	二、一、二、一	二、一、二、一	二、四、五、〇、〇〇〇	同
宇品町鐵管布設替工事	二、一、二、一	二、一、二、一	三、八、一、〇、〇〇〇	同
的場町鐵管布設替工事	二、一、二、一	二、一、二、一	五、三、五、八、〇〇〇	同
元野砲隊跡鐵管撤去並移設工事	二、一、二、一	二、一、二、一	六、六、七、五、一〇〇	請負
市内各所鐵管類運搬整理工事	二、一、二、一	二、一、二、一	六、〇、八、〇、〇〇〇	直營
廣島市内一圓埋設消火栓制水弁掘上工事	二、一、二、一	二、一、二、一	四、六、五、〇、〇〇〇	同
消火栓修理工事	二、一、二、一	二、一、二、一	九、八、〇、〇、〇〇〇	同
南音二丁目一〇〇耗配水管布設替工事	二、一、二、一	二、一、二、一	五、二、七、〇、〇〇〇	同
市内各所配水管修理工事	二、一、二、一	二、一、二、一	三、七、一、五、〇〇〇	同
大洲向洋配水管布設工事	二、一、二、一	二、一、二、一	一、〇、六、〇、〇〇〇	請負
瀧過池漏水管修理工事	二、一、二、一	二、一、二、一	二、四、〇、〇、〇〇〇	直營
瀧過池漏水管修理工事	二、一、二、一	二、一、二、一	三、七、〇、〇、〇〇〇	請負
鋼材運搬整理工事	二、一、二、一	二、一、二、一	四、〇、〇、〇、〇〇〇	直營
堺町及大洲線工事殘材運搬工事	二、一、二、一	二、一、二、一	四、〇、〇、〇、〇〇〇	直營
配水池漏水管修理工事	二、一、二、一	二、一、二、一	五、〇、〇、〇、〇〇〇	同
消火栓修理工事(第二次)	二、一、二、一	二、一、二、一	三、七、〇、〇、〇〇〇	同
自猿橋橋東詰鐵管撤去並布設替工事	二、一、二、一	二、一、二、一	六、一、五、〇、〇〇〇	同
至大正橋西詰鐵管撤去並布設替工事	二、一、二、一	二、一、二、一	四、一、七、〇、〇〇〇	同
配水幹線漏水箇所修理工事	二、一、二、一	二、一、二、一	三、〇、〇、〇、〇〇〇	同
江波二本松配水管移設工事	二、一、二、一	二、一、二、一	四、〇、〇、〇、〇〇〇	同
市内配水管水壓調查工事	二、一、二、一	二、一、二、一	三、〇、〇、〇、〇〇〇	同
大正橋鐵管撤去並配水管取付工事	二、一、二、一	二、一、二、一	一、三、〇、〇、〇〇〇	同

二、水害復舊工事

工名	起工	竣工	工事費	施行區分
取水栓補足設備工事	昭和 二、一、三	昭和 二、三、三〇	一〇、九〇〇〇	請負
取水栓補足設備一部追加工事	二、三、三〇	二、三、三〇	五、〇〇〇〇	同
大正橋添架水管撤去並運搬工事	二、三、三〇	二、三、三〇	五、〇〇〇〇	同
觀音橋水管撤去並運搬工事	二、三、三〇	二、三、三〇	四九、五〇〇〇	同
住吉橋水管添架並撤去工事	二、三、三〇	二、三、三〇	五六、〇〇〇〇	直營
觀音町一五〇耗管破裂修理及コーキング締直工事	二、一〇、一	同	六〇、三〇〇〇	同

三、第四期水道擴張工事

工名	起工	竣工	工事費	施行區分
ヒューム管製作工事	昭和 二、一、三	昭和 一、一、一八	三七、〇七〇	請負
煙瓦府捺去工事	二、一、一五	二、一、三〇	九、九三〇〇	直管
舊基町水道部鑄鐵管類運搬整理工事	二、一、一	二、一、一六	八、七四八〇	同
新設濾過池濾過調整機据付並濾過井覆蓋工事	二、三、三	二、三、三	五、六〇〇〇	同

復興局下水課

一、工事

種別	工事場所	工事完了のもの	工事中又は設計中のもの	摘要
抽	宇品抽水所	一、二、三、四號ポンプ改造工事 導水暗渠改造工事 ポンプ井浚渫工事 上家復舊工事 基礎補修工事 樋門扉復舊工事 鍛冶場新設工事 倉庫移築工事		電動機直結 "直經八〇〇耗横型軸流ポンプ四台 三〇〇耗渦卷ポンプ一台
	常盤抽水所	機械設備復舊工事 電気配線工事 上家復舊工事 外柵其他復舊工事		電動機直結 直經六〇〇耗渦卷ポンプ 一台
	廣瀬抽水所	機械設備復舊工事 電気配線工事 上家復舊工事		電動機直結 直經六〇〇耗渦卷ポンプ 一台
	榎町抽水所	機械設備復舊工事 電気配線工事 上家復舊工事		電動機直結 直經六〇〇耗渦卷ポンプ 一台
	青崎抽水所	上家復舊工事		
水	鶴見抽水所	機械設備復舊工事 電気配線工事 上家復舊工事		電動機直結 直經六〇〇耗渦卷ポンプ 一台

二、抽水所について

場	所	抽水警戒日数	抽水回数	抽水延時間	抽水警戒所要延人員
青	崎	二四	二四	二九	三
宇	品	二九	二九	一〇、二五	三八〇
大	河	四	三八	二二	五〇
東	雲	六	三六	六	二
庚	午	五九	四六	一七	二六
鶴	見	六	六	六	二
常	盤	四	四	五	二
廣	瀬	六	六	七	二
榎	町	四三	三八	一、五四六	五九
計					
松	計	二九	一九	七三	一六
新	多	六	六	三	九
小	網	二	二	五	四
空	原	元	元	二	元
河	原	元	元	二	元
吉	島	三五	三五	一四	五〇
場	所	二六	二六	二四	二六

三、灌漑について

復興局土木課

一、設計數及實施概況

一、設計に関するもの

種別	計
道路に関するもの	六
橋梁に関するもの	五
砂防に関するもの	二
河川に関するもの	二
港灣に関するもの	三
墓地に関するもの	二
公園に関するもの	五
計	三五

二、實施に関するもの

區分	件	數	工事額	内譯
道路工事	三六		二、八二四、三五六八	指名 二、二四六、九四八〇〇 隨營 三五五、三〇〇〇〇 直營 三三、〇七六六
橋梁工事	一四		二、七〇〇、七五六〇	指名 二、六二四、二〇〇〇〇 隨營 二九、六〇〇〇〇 直營 四六、九六五六〇
護岸工事	四		一、四八、五〇〇〇	指名 一一、九六〇〇〇 隨營 三、六〇〇〇〇

其他 工事

四

一九五、八九四六四

指名
直營

一七〇、〇〇〇〇
二五、八九四六四

二、街路事業

- 一、己斐草津線は昭和二十一年度に於て下層混泥土終了
- 二、荒神大州線は立体交叉のみ未施行にて目下工事中

三、橋梁工事

新橋、横川新橋、柳橋、南観音一號三號橋梁は目下工事中にして中央橋、東大橋、観船橋、住吉橋、観音橋等何れも工事竣工せり

四、公園緑地墓地事業

- 一、公園關係として中島公園、東公園の設計中
- 二、緑地墓地關係は三瀧墓地六萬坪中二千坪の設計を終り三瀧の残部及高天原墓地の設計中なり

五、宇品棧橋について

本期間中に於ける宇品棧橋使用成績は左の通り

入場者	金	筒	貨	數	料	金	回	繁	船	送	水	器	使用	料	金	料	金	合計	摘	要
五六、八二	一五、四元三〇	三、八三	六、六四三〇	七五六	六、〇七一五〇	一、六〇	五、〇〇三〇〇	三、七七〇〇												

六、共同荷揚場について

本期間中宇品上屋起重機使用成績は左の通りである

區	分	坪	又	は	回	數	料	金	摘	要
甲上屋	六	坪						七、〇三〇〇〇		
乙上屋	一	坪						二、一五〇〇		
起重機	四							九、一五〇〇		
計										

七、道路、公園、公用地占使用について

種	別	出	願	件	數	廢	止	件	數	占	使	用	件	數
道	路				三〇				二〇					一〇
堤	塘				一五				一					一五
溝	渠				二				一					二
下水	道				七				三					四
公園	園				四五				三					三
計														

復興局建築課

一、本期間中に於ける工事設計並實施狀況は左の通り

一、工事完了のもの

本川校スチールサッシ硝子切嵌工事
職町小學校屋外講堂新設工事
牛田小學校外二十八校代用硝子工事
尾長小學校々舎増築第二期工事
市立中學校戰災復興第一期工事
元電信隊解体材保管設備工事
第一市女雜修繕工事
市立第一工業學校造船科間仕切工事
市營共同住宅疊敷込工事
千田町市營住宅電灯設備工事
基町市營住宅(B C號)給水工事
屠殺場急復舊第三期工事
屠殺場軌條修理工事
市營火葬場災害復舊(土間補裝)工事

二、工事又は設計中なるもの

向西館火葬室手洗場給排水工事
廣島市復興工事々務所新築工事
東部復興事務所電灯設備工事
舟入病院消毒所新築工事
舟入病院看護婦寄宿舎板塀新設工事
廣島市保養院戰災應急復舊工事
宇品公共便所工事
市廳舎外面照明(電灯)設備工事
市廳舎裏門及周圍塀其他復舊工事
市廳舎議場第一期工事
市廳舎裏庭照明電灯設備工事
郷土工藝振興展覽會々場仕構工事
都市復興展覽會設備及撤去工事

舟入病院本館新築工事

舟入病院汽罐並煙突及消毒罐修理工事

議場其他スチールサッシ修繕工事

市廳舎自動車々庫扉其他模様替工事

市廳舎門稅務課其他廊下窓取設工事

正副議長室及元貴賓室復舊工事

市廳舎廊下(一、二、三階)床應急修繕工事

市廳舎警備用電鈴取付設備工事

秘書涉外課呼出電鈴及表示器取付工事

市廳舎内電氣設備復舊工事

廳舎各便所其他修繕及清掃工事

市廳舎正面廣間並廊下其他補修工事

復興事務所附屬自動車々庫新築工事

量水器室新築工事

材料倉庫新築工事觀音出張所増築及修繕工事

三篠出張所増築工事

己斐出張所間仕切及窓工事

草津出張所改造工事

舟入出張所補修工事

草津火葬場補修工事

屠場應急復舊第四期工事

市立工業專門學校機械科實習室補修設備工事

市女校屋根其他修繕工事

市立中學校戰災復興第二期工事

市立中學校第三期工事

市商新築工事

觀音校天井補修工事

本川校硝子工事

第二校屋根修繕工事

皆實校屋根修繕工事

大芝校屋根修繕工事

青崎校硝子工事牛田校増築工事

觀音校新築工事

袋町校第三期修繕工事

本川校第四期修繕工事

宇品校屋根修繕工事

山陽文德殿屋根其他修繕工事

復興局住宅課

一、本期間中に於ける工事設計並實施狀況

一、工事完了のもの

舟入市營住宅	九戸	福島市營住宅	一五戸	"	第九區	六六戸
白島町市營住宅	九	千田町市營住宅	一	"	第十區	三五
吉島町市營住宅	一八	二、工事中のもの		"	第六區	一一
福島町市營住宅	五五	尾長町 第一區	七	寶町 (コンクリート ブロック造)		一〇
基町 店舖	四九	" 第二區	八	三、設計中のもの		
基町市營住宅(C號)	八九	基町 第四區	七五	基町 元彈藥庫北	十一區	四二戸
基町市營住宅(A號)	二〇〇	" 第五區	七五	基町上水課倉庫北	十區	三二
基町共同住宅(1)(2)(3)號	1號 六室 2號 一〇 3號 三八	福島町 第三區	八一	基町元陸軍病院跡	十二區	一五〇
市營更生住宅	一型 六戸 二型 一二 三型 二二	基町 第七區	三〇	中廣町(向西館前)		二〇
		第八區	五〇	昭和町「アパート」		四〇

二、本期間中に於て建築許可申請書を受けた數

一一、一三〇件

復興局東部復興事務所

一、窓口事務

土地所有届	四、二〇〇件
團地合筆願	一五〇件
共有願	三五件
地積査定申請願	二七件

二、土地買上賣買斡旋について

買上	一件
斡旋	一〇件

三、過小宅地(二〇坪未満)調について

總件數	四八〇件
坪數	五、四六六坪五三

四、過大宅地(五〇〇坪以上)調について

總件數	一六八件
坪數	一八二、一四五坪

五、換地カード調製

六、權利者名簿異動製

土地所有者名
借地権者名
低當権者名
其
異動

七、二〇一名
二、三六六名
一、九九五名
一五件
一、五〇〇件

七、登記について

庚午土地區劃整理換地登記申請書調製

八分完了

所有權取得

一件

登記簿閱覽

一〇二箇町

八、假換地指定通知について

第一回假換地豫定地指定通知件數

三八五件

飛換地豫定地指定通知件數

二件

九、國有財産について

國有財産轉用未完

使用承認願、讓與願、拂下願、無償貸付願 使用許可を與へたもの 九件

合計 二九件

一〇、土地區劃整理委員會

本委員會招集

八回

特別委員會招集

四回

委員會議事規則設定、換地清算の基本方針、土地區劃整理換地準則設定、過少宅地過少借地の取扱準則、土地區劃整理施行規定、道路工事施行に關する土地の使用換地計算法について、第一回換地豫定地指定、第一回換地豫定地借地權指定、飛換地豫定地指定 計 一〇件可決

東西連絡會議

一回

協議會

一回

一一、土地評價委員會

招集

一回

一二、區劃整理地區農地調査

七百三十五件

一三、告示其他

土地區劃整理委員選舉區域に關する告示

一回

土地區劃整理委員選舉に關する告示

五回

假換地豫定地發表告示

一回

假換地借地權發表告示

一回

飛換地發表告示

一回

右地方自治法第二百三十四條第三項に依り報告致します

昭和二十三年三月十六日提出

廣島市長 濱井信三

市長

職員表

(昭和二十二年十一月三十日現在)

市長	濱井信三	1
副市長	濱井信三	1
第一副市長	濱井信三	1
第二副市長	濱井信三	1
第三副市長	濱井信三	1
第四副市長	濱井信三	1
第五副市長	濱井信三	1
第六副市長	濱井信三	1
第七副市長	濱井信三	1
第八副市長	濱井信三	1
第九副市長	濱井信三	1
第十副市長	濱井信三	1
第十一副市長	濱井信三	1
第十二副市長	濱井信三	1
第十三副市長	濱井信三	1
第十四副市長	濱井信三	1
第十五副市長	濱井信三	1
第十六副市長	濱井信三	1
第十七副市長	濱井信三	1
第十八副市長	濱井信三	1
第十九副市長	濱井信三	1
第二十副市長	濱井信三	1
第二十一副市長	濱井信三	1
第二十二副市長	濱井信三	1
第二十三副市長	濱井信三	1
第二十四副市長	濱井信三	1
第二十五副市長	濱井信三	1
第二十六副市長	濱井信三	1
第二十七副市長	濱井信三	1
第二十八副市長	濱井信三	1
第二十九副市長	濱井信三	1
第三十副市長	濱井信三	1
第三十一副市長	濱井信三	1
第三十二副市長	濱井信三	1
第三十三副市長	濱井信三	1
第三十四副市長	濱井信三	1
第三十五副市長	濱井信三	1
第三十六副市長	濱井信三	1
第三十七副市長	濱井信三	1
第三十八副市長	濱井信三	1
第三十九副市長	濱井信三	1
第四十副市長	濱井信三	1
第四十一副市長	濱井信三	1
第四十二副市長	濱井信三	1
第四十三副市長	濱井信三	1
第四十四副市長	濱井信三	1
第四十五副市長	濱井信三	1
第四十六副市長	濱井信三	1
第四十七副市長	濱井信三	1
第四十八副市長	濱井信三	1
第四十九副市長	濱井信三	1
第五十副市長	濱井信三	1
第五十一副市長	濱井信三	1
第五十二副市長	濱井信三	1
第五十三副市長	濱井信三	1
第五十四副市長	濱井信三	1
第五十五副市長	濱井信三	1
第五十六副市長	濱井信三	1
第五十七副市長	濱井信三	1
第五十八副市長	濱井信三	1
第五十九副市長	濱井信三	1
第六十副市長	濱井信三	1
第六十一副市長	濱井信三	1
第六十二副市長	濱井信三	1
第六十三副市長	濱井信三	1
第六十四副市長	濱井信三	1
第六十五副市長	濱井信三	1
第六十六副市長	濱井信三	1
第六十七副市長	濱井信三	1
第六十八副市長	濱井信三	1
第六十九副市長	濱井信三	1
第七十副市長	濱井信三	1
第七十一副市長	濱井信三	1
第七十二副市長	濱井信三	1
第七十三副市長	濱井信三	1
第七十四副市長	濱井信三	1
第七十五副市長	濱井信三	1
第七十六副市長	濱井信三	1
第七十七副市長	濱井信三	1
第七十八副市長	濱井信三	1
第七十九副市長	濱井信三	1
第八十副市長	濱井信三	1
第八十一副市長	濱井信三	1
第八十二副市長	濱井信三	1
第八十三副市長	濱井信三	1
第八十四副市長	濱井信三	1
第八十五副市長	濱井信三	1
第八十六副市長	濱井信三	1
第八十七副市長	濱井信三	1
第八十八副市長	濱井信三	1
第八十九副市長	濱井信三	1
第九十副市長	濱井信三	1
第九十一副市長	濱井信三	1
第九十二副市長	濱井信三	1
第九十三副市長	濱井信三	1
第九十四副市長	濱井信三	1
第九十五副市長	濱井信三	1
第九十六副市長	濱井信三	1
第九十七副市長	濱井信三	1
第九十八副市長	濱井信三	1
第九十九副市長	濱井信三	1
第一百副市長	濱井信三	1

職員表

市役所
收入役

一三一

課名	事務		技術		吏員		履		員計	合計
	理事	主事	技師	技手	看護	婦長	囑託	事務		
會計									1	1
外務									1	1
總務									1	1
秘書									1	1
田書									1	1
牛田									1	1
長崎									1	1
尾崎									1	1
青島									1	1
荒神									1	1
比治									1	1
仁保									1	1
大實									1	1
皆實									1	1
宇品									1	1
基町									1	1
小網									1	1
舟入									1	1
觀音									1	1
己斐									1	1
三篠									1	1
草津									1	1
中津									1	1
似島									1	1
職員									1	1
財務									1	1
稅務									1	1
社會									1	1
學務									1	1
社會									1	1
戶籍									1	1
工商									1	1
工業									1	1
食糧									1	1
屠宰									1	1
製鹽									1	1
保衛									1	1
舟楫									1	1
經理									1	1
住宅									1	1
繕寫									1	1
水務									1	1
水務									1	1
水務									1	1
給上									1	1
上給									1	1
庶務									1	1
工務									1	1
合計									114	114

(昭和二十二年十一月三十日現在)

